

とまこまい

所役市牧小苦
人發行集編
新岡正每
印刷所
社報民牧小苦

国勢調査いよいよ近づく

24日から
準備調査
留守にしないで調査員にご協力を

☆国勢調査がどここりなく
終るため、各世帯の深い理解
と、調査員に対する積極的な
協力が望まれています。

☆結婚年数、子供の数につい
ては、男全部と、未婚の女は
☆調査員は十月一日から三日
ついで、必ず記入しておき、
関係も有るマルでかこみます
態によつて記入します。内縁
ておく欄です。各記入事項に

☆国勢調査票の「世帯主が記入する欄」には、九月三十日までに、必ず記入をすませてください。

☆結婚年数も、届出の有無と関係なく実際の期間を書きます。再婚の場合は、前の結婚について、世帯主または世帯員

斜線を引きます。
までの間に、再び各世帯を助

問し、世帯員の仕事や通学、住宅、家計収入の種類などに

調査票を受け取るとき、調査員の説明をよくきき、さらに調査票に書いてあることを、よく読んでから記入します。

☆子供の数は、実際にその人から三十日までの間、およびその前後の三日までの間を調査し、その数を記入します。

☆各世帯では、九月二十四日

☆記入には、青か、黒のインキを用いますが、特に調査員から指示された世帯は、その指示に従います。

☆調査票第3面に『おぼえ書』というのがあります。

☆また万一、九月三十日まで

☆調査票にハリ紙をすること
☆同じことを書くときも『
』『同』などとせず、必ず繰
り返して書きます。
☆勤め人の方について、調査に調査員が訪問しない世帯な
員が訪問したとき、その人があつたときは、市庶務課統
不在でもわかるように記入し係（電話三二二番）にその

國保協力家庭^{99世}を表彰

苫小牧市国民健康保険では、つぎの国協力家庭十九世帯を十月一日午後一時から市公民館で表彰することになりました。これは、昭和三十四年度の保険税を督促を受けずに完納し、同年度中医療の給付も受けなかった世帯で、現在引き続き被保険者である家庭ばかりです。

佐藤恒吉(表町) 千田清(王) 玉信吉(本町) 伊藤文治(本町) 宮沢了一(旭町) 桜井作
子町) 篠田弘作(東町) 白石町) 田村ハルエ(本町) 湯淺太郎(汐見町) 金塚卓治(汐
庄太郎(東町) 元岡ハツヨ(吉江(幸町) 藤原謙太郎(幸見町) 八木隆(汐見町) 高橋
(錦町) 網谷幸一(錦町) 松坂(町) 池上仙二(幸町) 堤秀子 与平(山手町) 成田吉五郎(

飯田義一(浜町)	長瀬徳之助(矢代町)	新妻八十吉(矢代生)	小竹友次郎(元町)	中島
清二郎(錦町)	狼田英一(栄町)	坂安太郎(栄町)	宮島ユク(栄町)	加藤誠二(栄町)
(幸町)	松坂喜八(浜町)	本山手町)	新保敏夫(西弥生)	渡辺重義(西弥生)
多勇吉(元町)	成田柵吉(元町)	佐竹秀(元町)	永井曉シ(西弥生)	西多ハツ(西弥生)
今野キヨ				

(大町) 中村芳文(大町) 宮田 小佐武良(木場町) 赤仁四良(沼の端) 伊藤三郎三
 川トメ(大町) 角川重吉(大 上次郎(緑町) 谷口豊吉(緑
 町) 加藤ハツ(中野) 片小田 町) 佐々木富子(緑町) 若槻 白鳥豊造(錦町) 今野文作(木
 町) 沼崎ハナ(大町 与四郎(緑町) 大森幸作(木 錦町) 池田鶴彦(東開) 千葉
 糸江(大町)

〔本町〕大垣二夫〔本町〕小留吉〔緑町〕小田辺繁三〔旭払〕渡辺常松〔柏原〕猿子衛

昭和35年 国勢調査調査員名簿

国勢調査員名	担当番	調査区号	担区	当域	国勢調査員名	担当番	調査区号	担区	当域
氏波	(1)	226	大	町	氏波	(1)	280	東	町
木崎	(1)	227	本	町	公華	(1)	281	東	町
島松	(1)	228	本	町	秀子	(1)	282	東	町
本田	(1)	229	本	町	佐美	(1)	301	東	町
永井	(1)	230	本	町	政太	(1)	283	東	町
伊藤	(1)	231	幸	町	雄智	(1)	284	東	町
堀屋	(1)	232	幸	町	正正	(1)	285	東	町
豊倉	(1)	233	幸	町	勇作	(1)	286	東	町
森中	(1)	234	幸	町	間万	(1)	287	東	町
大森	(1)	235	幸	町	輔稔	(1)	288	東	町
阿河	(1)	236	幸	町	ちえ	(1)	289	東	町
柿北	(1)	237	幸	町	郎男	(1)	290	東	町
植田	(1)	238	幸	町	美二	(1)	291	東	町
田村	(1)	239	幸	町	勝平	(1)	292	東	町
沢田	(1)	240	幸	町	喜健	(1)	293	東	町
赤相	(1)	241	幸	町	善三	(1)	294	東	町
植	(1)	242	幸	町	雅司	(1)	295	東	町
田	(1)	243	幸	町	一三	(1)	296	東	町
本	(1)	244	幸	町	允随	(1)	297	東	町
田	(1)	245	幸	町	真司	(1)	298	東	町
黒	(1)	246	幸	町	日	(1)	299	東	町
黒	(1)	247	幸	町	猪之助	(1)	300	東	町
赤	(1)	248	幸	町	繁夫	(1)	311	東	町
相	(1)	249	幸	町	武	(1)	312	東	町
植	(1)	250	幸	町	嶺	(1)	313	東	町
田	(1)	251	幸	町	吉郎	(1)	314	東	町
本	(1)	252	幸	町	勇治	(1)	315	東	町
田	(1)	253	幸	町	夫城	(1)	316	東	町
本	(1)	254	幸	町	三仁	(1)	317	東	町
江	(1)	255	幸	町	秀夫	(1)	318	東	町
江	(1)	256	幸	町	朗作	(1)	319	東	町
江	(1)	257	幸	町	孝吉	(1)	320	東	町
江	(1)	258	幸	町	充正	(1)	321	東	町
江	(1)	259	幸	町	吉	(1)	322	東	町
江	(1)	260	幸	町	正吉	(1)	323	東	町
江	(1)	261	幸	町	吉	(1)	324	東	町
江	(1)	262	幸	町	正吉	(1)	325	東	町
江	(1)	263	幸	町	正吉	(1)	326	東	町
江	(1)	264	幸	町	正吉	(1)	327	東	町
江	(1)	265	幸	町	正吉	(1)	328	東	町
江	(1)	266	幸	町	正吉	(1)	329	東	町
江	(1)	267	幸	町	正吉	(1)	330	東	町
江	(1)	268	幸	町	正吉	(1)	331	東	町
江	(1)	269	幸	町	正吉	(1)	332	東	町
江	(1)	270	幸	町	正吉	(1)	333	東	町
江	(1)	271	幸	町	正吉	(1)	334	東	町
江	(1)	272	幸	町	正吉	(1)	335	東	町
江	(1)	273	幸	町	正吉	(1)	336	東	町
江	(1)	274	幸	町	正吉	(1)	337	東	町
江	(1)	275	幸	町	正吉	(1)	338	東	町
江	(1)	276	幸	町	正吉	(1)	339	東	町
江	(1)	277	幸	町	正吉	(1)	340	東	町
江	(1)	278	幸	町	正吉	(1)	341	東	町
江	(1)	279	幸	町	正吉	(1)	342	東	町

ありのままみんなで作る国勢調査

治（美沢）江谷美千代（丸山 表町）和田いし（表町）小松 日十月八、九日（若草小、東
相沢政治（西弥生）八若長 わか（表町）安藤美奈子（表 中）申し込みは廿六日まで▼

各國勢調查員殿

今回の国勢調査は、一九六〇年世界人口センサスの一環として行なわれる十年ごとの大規模調査で集計結果は今後におけるわが国諸施策の重要な指針となり、調査内容も複雑多岐にわたるところから、調査員の方々のご苦勞も相當なものがあるかと思われ、各調査員におかれては、この調査がどこで、お終るよう、特段のご協力を賜わりたく、略儀ながら紙上をもってよろしくお願い申し上げます。

国を家庭を明るく築く郵便貯金

行る祭文 労働事務

労働文化祭実行委員会（事務局は市民生課内）では、ことしの行事日程をつぎ

（高）申し込みは十月三日まで
▼庭球大会 十月九日（王子コート）申し込みは十月三日まで
▼商店事業所訪問キロ馬拉ソン大会 十月八日（午

緑町等も指定

小児マヒの特
別対策地区に
道では、さらに木場町および

冬の御用意にガスストーブを
シュバンク式ガス赤外線ストーブ

- 他のガスストーブの半分のガス代ですみます。
- 方向が自由で壁にかけたり天井から釣るしたりできます。
- 熱の70%を赤外線（熱線）に変えるので乾燥や美容にも大きな効果があります。


 ホクネ 諸永商店
 大通交差点 T 2 3 6 4

買いやすく、払いやすい
日商連の10ヶ月払

ナショナル家庭電化製品(手数料別)		
電気釜	毎月	350円より
電気鍋	"	390円 "
魚焼器	"	289円 "
ミキサー	"	550円 "
コーヒー沸	"	395円 "
スチームアイロン	"	395円 "
掃除器	"	1,580円 "
洗濯機	"	2,390円 "

◎各種類が御座いますので
気軽に御相談下さい。
御一報次第参上致します。

◎只今湯の川温泉御招待
大売出し中です。
(1,000円毎に抽籤券呈)

電気のデパート
T 2319

錦戸電気

苦小牧市の人口はいくら？

ご応募ください。
 一、応募方法 用紙は官製
 はがき、苫小牧市在住者に
 限る。
 一、締め切り 九月三十日
 (当日の消印有効)
 一、あて先 苫小牧市東町
 一北海道新聞社 苫小牧支局
 一、賞 一等五千円一人、
 二等二千円一人、三等千円
 三人、四等記念品二十人。
 一、参考 八月三十一日現
 在の市の住民登録人口は六
 万三千二百七十人です。
 主催 苫小牧市
 北海道新聞社

